

「総合計画」がスタートして5年目を迎え、これまで積み重ねてきた成果を土台とし、4つの基本目標の達成に向けた施策が盛り込まれた令和7年度予算を審査しました。予算の決め方や使われ方について、当局への質疑と委員間での討議が行われました。審査の一部を紹介します。

「笑顔あふれるしあわせのまち二本松」

実現のための予算を可決

予算審査特別委員会で新年度予算案を審査

合併20周年記念事業

問 予定している事業の内容は。

答 主なものとして、本年12月21日に2部構成による記念式典を計画している。第1部では、市政功労者表彰や20周年記念ロゴマーク最優秀賞等受賞者の表彰をメインとし、第2部では、本市出身の樋口達哉氏によるリサイトを予定している。

消防団設置費

問 現在の団員数と支給する防火衣の1着当たりの単価は。また、機能別団員にも支給するのか。

答 現在の基本団員定数は1,313名であり、1着約10万円と見込んでいる。また、防火衣の支給は基本団員のみを予定しており、防火帽やしころ、防火靴は各屯所で必要最小限の数を購入する予定である。

インバウンド誘客促進事業

問 当該業務を委託する事業者の想定は。

答 来日するリピート率が高い台湾をターゲットとし、当市の強みである安達太良山と温泉を生かした交流事業を予定しており、市民募集型の旅行業務の委託が実施可能な事業者を想定している。

交通対策事業

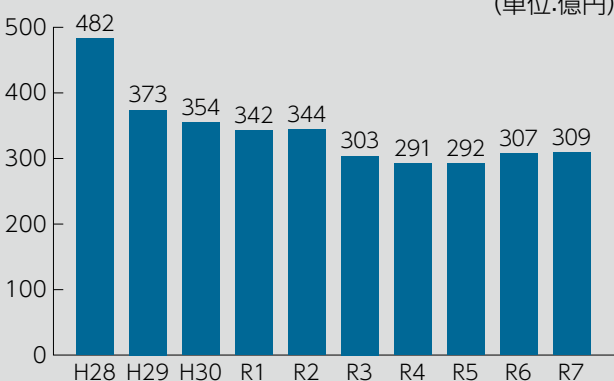
問 AIシステムを活用したデマンド型乗合タクシー運行の詳細は。

答 利用者が電話等で予約をした情報からAIシステムによりルートが作成され、運転手の管理するタブレット端末に情報が送信されるシステムとなる。

意見 デマンド型乗合タクシーについては、AIシステムの活用によりスムーズに運行できるよう努めて欲しい。

一般会計の当初予算額の推移

(単位:億円)



予算規模

(単位:千円)

会計区分	令和7年度予算額	令和6年度予算額	比較
一般会計	30,892,143	30,667,334	224,809 (0.7%)
特別会計	12,498,070	12,730,307	▲ 232,237 (▲1.8%)
企業会計	5,171,397	5,247,877	▲ 76,480 (▲1.5%)



予算審査特別委員会の様子

3月定例会では、令和7年度各会計予算を審査するため、予算審査特別委員会を設置しました。

3月11日及び12日に、全体会で総括審査を行った後、分科会に分かれ質疑・討議が行われました。

予防接種事業

意見 新たに始まる带状疱疹ワクチン接種の費用助成について、市民の健康増進に寄与する重要な事業であることから、正確かつ分かりやすい情報提供により、接種率の向上に努めてほしい。

答 带状疱疹ワクチンの定期接種については、個人の重症化予防のために実施するB類疾病のワクチン接種であるため、市が接種費用の7割相当額を負担し、被接種者の自己負担額は、生ワクチンの場合3,000円、組み換えワクチンの場合は1回7,000円が2回分となる。また、近隣自治体においても、自己負担額が3割相当額となるよう協議を進めていると伺っており、大きな差は生じないと思われる。

問 带状疱疹ワクチンの定期接種にかかる自己負担額は。また、近隣自治体と比較し自己負担額に差はあるのか。

二本松駅南地区 整備事業

問 現在進めている南北自由通路の基本設計の内容と今後の計画は。

答 JRと協定を締結し事業に着手しており、橋上駅舎等の案も含め、基本設計を令和8年8月までにまとめることとしている。その後、実施設計と工事を経て、市としては令和12年度末までの完成を目指している。

二本松城跡 調査事業

問 測量設計等委託料596万1,000円の内訳は。

答 三の丸周辺にある全ての石垣のカルテ作成に約497万円、からめて掘手門北側の発掘調査に係る石垣の写真測量に約99万円を見込んでいる。

民生委員活動経費

問 新たに設置する民生委員協力員の目的と人数は。

答 民生委員の負担軽減と新たな地域福祉の担い手発掘を目的に、民生委員の活動を補佐する民生委員協力員を設置する計画である。協力員の活動内容は、地域住民からの相談対応、訪問同行、地域イベント参加などであり、令和7年度は民生委員の定員149名の2割、30名程度を想定している。

令和7年度一般会計

当初予算 308億9,214万円

